



JSCE COMPETITION

東横堀川デザインコンペ

～Zoom de コンペ!～

募集要項

【参加登録】 2020/6/26 (金) ～2020/8/7 (金)

【提案期間】 2020/8/3 (月) ～2020/8/31 (月) 20 時厳守

【2次審査会 (Zoom)】 2020/9/19 (土)

【専用サイト】 <https://higashiyokoborigawa.designcompe.info/>

- 主 催 : 大阪「水の回廊」東横堀川デザインコンペ実行委員会
土木学会 建設マネジメント委員会 公共デザインコンペティション研究小委員会
- 協 賛 : (特別協賛)
株式会社エイト日本技術開発、株式会社オリエンタルコンサルタンツ
大日本コンサルタント株式会社、中央復建コンサルタンツ株式会社
- 後 援 : 国土交通省近畿地方整備局、大阪府、大阪市
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会近畿支部

(履歴)

2020年6月26日(金)発行

2020年7月9日(木)改訂(質問受付期間の延長)

2020年7月22日(水)改訂(参加登録期間の延長)

2020年8月7日(金)改訂(提案提出の締切時間の追記)

2020年9月17日(木)改訂(審査員特別賞の追加、結果発表及び表彰式の情報追加、CPD単位の修正)

目次

1.	趣旨	1
2.	対象エリア	2
3.	応募資格	3
4.	提案への要求事項	3
5.	提出物	5
6.	スケジュール	5
7.	賞	6
8.	審査員	6
9.	質問と回答	6
10.	参加登録	6
11.	提案資料の提出	6
12.	審査	7
13.	結果発表	8
14.	失格事項	8
15.	著作権および応募作品の取り扱い	8
16.	土木学会継続教育（CPD）プログラム	8

1. 趣旨

今年、コロナ禍により、わたしたちが暮らす社会の風景は大きく変わりました。わが国の将来を担うべき大学生や大学院生、高専生をはじめ、若い社会人の方々にとっても、さまざまなストレスや不安、収入減少などに加えて、若者にとってきわめて重要な成長の機会が大きく奪われている状況が生じています。

そこで、未来ある若者たちに、今だからこそ考え、今だからこそできる活動に、積極的に取り組んでいただき、個々の成長につなげていって欲しいとの願いから、国民一人ひとりの日常の暮らしに直結する都市空間のあり方について提案するアイデアデザインコンペティション「Zoom de コンペ!」を企画しました。このコンペは、チーム作りから、チーム内での議論、デザイン案の作成、提案発表まで、すべて3密を回避して在宅等で行えるよう、インターネット技術を最大限に活用して実施するものです。審査時のプレゼンテーションは、今ビジネスや教育の現場で活用が広がっている「Zoom」を用いて実施します。今回のコンペは、これまでの一般的なデザインコンペを、ただ単にオンラインで実施するというものではありません。オンラインだからこそできること、その可能性を最大限に引き出し、デザインコンペの実施の仕方そのものにも挑戦してみたいと思います。コロナ禍による社会の激変を経験したことで、これからの都市空間のあり方についても、新たな課題や気づきが見えてきた人もおられるかもしれません。そのような新たな問題意識とともに、これからの都市像を描いていただきたいと思います。

対象地に選定した東横堀川は、人々が密集しがちな都心部にありながら、繁華街の賑わいから離れ、静かで落ち着いた、人々の日常の暮らしが息づく場所です。大坂城の西惣構堀という古い歴史をもちながら、いつも地域の暮らしに寄り添ってきた大切な川であると同時に、現在は、中之島（土佐堀川・堂島川）、木津川、道頓堀川とともに、「大阪『水の回廊』」として、この地域のみならず、大阪のまちづくり全体にとっても非常に重要な場所となっています。その一方、あともう少し工夫をすれば、もっと魅力を引き出せるのではないかと、いう秘めた可能性を感じさせる場所でもあります。

ぜひ、この東横堀川を題材に、これからの都市空間や水辺空間の新しいデザインについて、豊かな発想でご提案ください。

※本コンペは、デザインのアイデアを広く募集し、今後の都市空間や水辺空間のあるべき姿や可能性を考えることを目的としたものであり、提案内容の直接的な実現を前提とするものではありません。今後のまちづくりへのヒントとして活用させていただきます。

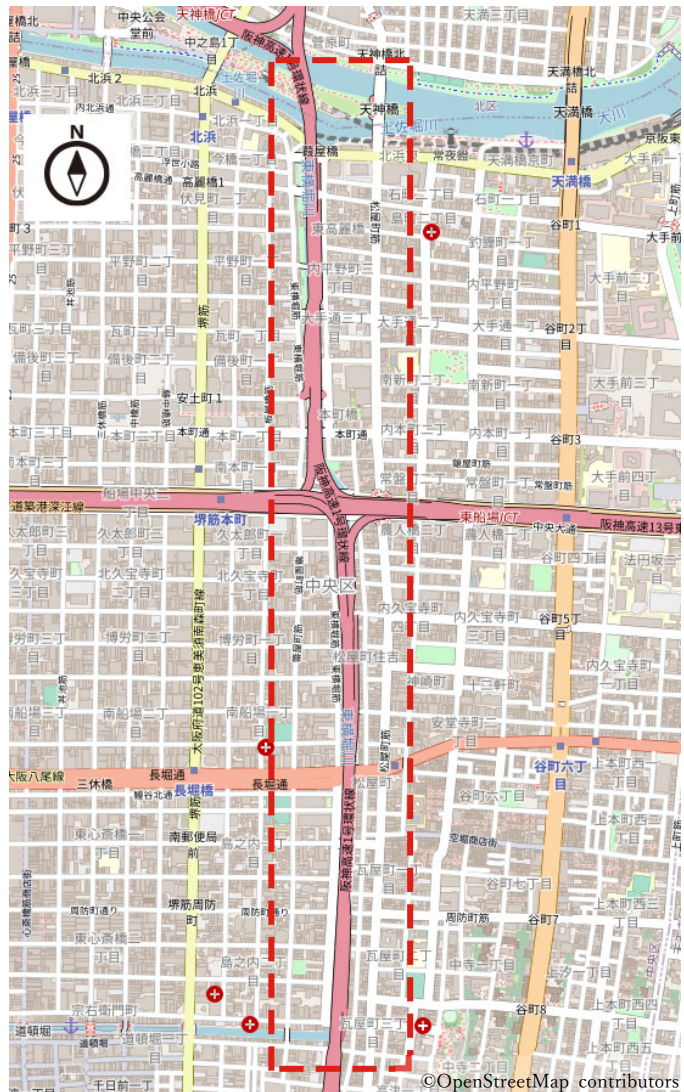
2. 対象エリア

東横堀川は、かつては「太閤堀」と呼ばれ、大坂城の外堀でした。当時からよく賑わった船場の下町の雰囲気をも残し、魅力的な飲食店なども点在しています。本町橋、大手橋、高麗橋など、地域の歴史にとって重要な橋も架かっています。上空は、ほぼ全面が阪神高速の高架で覆われており、河川内に橋脚が立てられています。水位は東横堀川水門と道頓堀川水門によってほぼ一定に管理され、クルーズ船が運航しています。また、「水の回廊」を形成する重要な区間として、今後のさらなる魅力的なまちづくりが期待されています

一方、高架下であるため、河川空間は必ずしも明るいといえる空間ではありません。照明も少なく、夜間はかなり暗くなります。また、阪神高速のランプ部が接続する周辺は、自動車の交通量が特に多く、歩行者が安心して歩ける場所になっていません。沿川の建物は、多くが川に背を向けるように建っています。東横堀緑道公園では川沿いを歩くことができま

すが、川沿いを歩けない区間も多くあります。また、堤防の役割として築かれたコンクリートのパラペットが、川とまちを分断し、川と建物間に未利用のデッドスペースが生まれています。なお、現在は水位調整がなされているため、パラペット状の特殊堤は堤防としての役割を終えており、現在の治水計画は撤去可能な状態となっています。

そのようななか、近年は、地域でのまちづくり活動が活発に行われており、清掃活動や各種イベント開催、フラワーポット設置、ガイドブック発行、空間デザインへの取り組みなどが積極的になされています。また、そのようなまちづくりの機運の高まりから、本町橋船着場の整備や親水空間の整備が実現し、現在では、地域と水辺、舟運が連携したにぎわい創出拠点「本町橋 BASE」の計画が進められています。このように、



対象エリア

人々の生活に密着した落ち着いた雰囲気を保ちながら、より魅力的なまちづくりが進められています。

提案いただくエリアは、東横堀川全体を含むものとし、概ね図の赤の破線で囲まれたエリアとします。

南北方向については、東横堀川の全区間（約 2.5km）を含めるようにしてください。エリア北端の中之島公園東端まで含めるかどうかは提案者の自由とします。

東西方向については、赤の破線内であれば、東横堀川の両岸地域も含めていただいて構いませんが、破線内のすべての領域について提案する必要はありません。

対象エリアの詳細な情報は、本コンペのウェブサイト（以下、ウェブサイト）（<https://higashiyokoborigawa.designcompe.info/>）の「参考データ」欄をご覧ください。参加登録いただいた代表者の方には、参考データのダウンロード方法をお知らせします。

3. 応募資格

どなたでも応募できます。個人、グループ、国籍、年齢、保有資格など一切問いません。

4. 提案への要求事項

東横堀川にかかわる地理、歴史、環境、文化、景観、暮らし、営み、地域資源などをよく読み取り、より魅力的な東横堀川を創出するためのデザイン提案をしてください。概ね 10～20 年程度先の未来をイメージして提案してください。

提案の切り口として、例えば、以下のような観点が考えられますが、必ずしもこれらにこだわる必要はありません。柔軟な発想で提案してください。

- ・都市環境の改善（自然との共生、防災、水辺へのアクセス、住民のプライバシー確保）
- ・地域らしさの創出（地域のアイデンティティ、歴史、文化、伝統、暮らし、営み）
- ・観光的魅力の形成（個性あふれるまちづくり、地域資源の活用、回遊性の創出）
- ・魅力ある景観の形成（癒しやくつろぎの空間、良好な水辺景観、かわとまちが一体となった都市空間づくり）

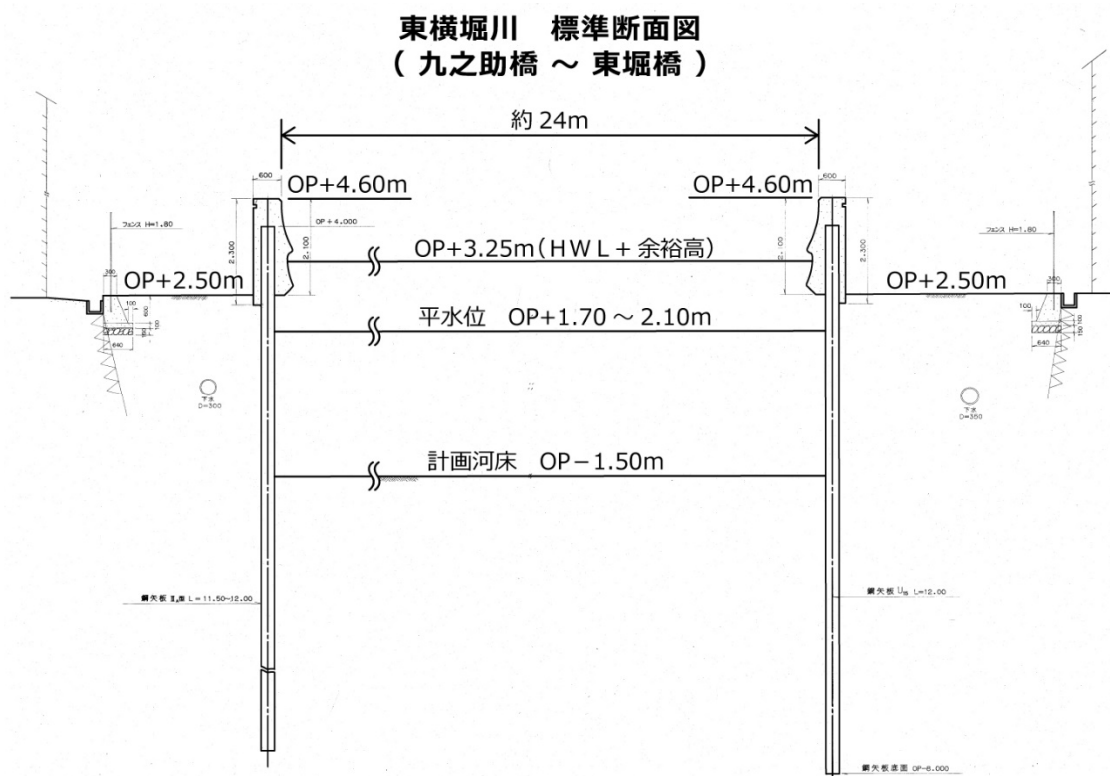
提案は、以下の内容を含むようにしてください。

- ・東横堀川全体をトータルにデザインするコンセプトおよび基本計画
- ・上記を具体化した空間デザインの提案。つまり、その提案内容によって、人々のアクティビティがどのように変わるのか、例えば、護岸、管理用通路、川と沿川建築物の間に

ある空地、橋および橋詰広場、緑道公園、沿川建築物の改装、その他の施設や仕掛けなどについて具体的なデザイン案を示すとともに、人々のアクティビティを想定し、表現してください。ハード面だけでなく、使い方、仕組み、制度など、ソフト面の提案も歓迎します。

物理的な条件として、以下を前提としてください。以下の条件以外は、自由に設定いただいて結構です。

- ・現在の河道（川の流れ）を大幅に変更することはできません。ただし、護岸の改修や河川内へのアクセス路または構造物の設置等の提案を妨げるものではありません。
- ・東横堀川水門およびその関連施設は撤去できません。ただし、その活用や改良、付加物等の提案を妨げるものではありません。
- ・阪神高速道路の高架構造物は撤去できません。ただし、その活用や改良、付加物等の提案を妨げるものではありません。
- ・東横堀川の水位は、水門で一定（O.P. +1.7～2.1 m）に保たれていますが、河川整備計画により、計画高水位（H.W.L） O.P. +2.65 m に余裕高 0.6 m を見込んだ O.P. +3.25 m の高さまでは治水上必要とされています。
- ・河積阻害率は、橋脚では原則として 5 % 以内と定められています（河川管理施設等構造令より）。



5. 提出物

提出物は、下記の要領で作成し、ウェブサイトより提出してください。

- ・ファイル形式：PDF（ファイル内に音声や動画を埋め込むことも可とします（必須ではありません）。その場合、埋め込んだPDFファイルとは別に、音声ファイルや動画ファイルを提出いただくことがあります。また、提案者が作成したYouTube上の動画等へのリンクを貼ることも可とします。）
- ・ファイル名：整理番号（参加登録後に発行される4桁の数字）としてください。
- ・ファイルサイズ：20MB以下を原則とします（20MBを超える場合はご相談ください）。
- ・ページのサイズ：A4横
- ・ページ数：15ページ以内（表紙ページは不要）
- ・文字の大きさ：標準的なPC画面で判読可能なレベル
- ・画像解像度：同上
- ・匿名性：審査は匿名で行いますので、応募作品中に、応募者が特定される情報（氏名、所属、マーク・記号等）は一切含めないようにしてください。
- ・その他：2次審査に進んだ場合の新たな資料提出は不要です。1次審査の際に提出いただいた資料と同じデータを用いてプレゼンテーションしていただきます。

6. スケジュール

項目	時期
募集要項公表	2020年6月26日（金）
質問受付期間	2020年6月26日（金）～2020年7月20日（月）
質問回答公表	2020年7月27日（月）頃まで
参加登録期間	2020年6月26日（金）～2020年8月7日（金）
提案提出期間	2020年8月3日（月） ～2020年8月31日（月） <u>20:00 厳守</u>
1次審査結果の発表	2020年9月9日（水）
2次審査・公開プレゼンテーション	2020年9月19日（土）
2次審査結果の発表	2020年9月19日（土）（オンライン中継で発表） 2020年9月30日（水）（ウェブサイトにて発表）

7. 賞

最優秀賞：賞状および金 15 万円（1 作品）

優 秀 賞：賞状および金 10 万円（1 作品）

奨 励 賞：賞状および金 3 万円（5 作品）

審査員特別賞：賞状（数作品）

8. 審査員

(50 音順)

審査員	所属・役職
忽那 裕樹	株式会社 E-DESIGN 代表取締役
久保田 善明（副委員長）	富山大学 教授
中野 雅弘（委員長）	元 大阪産業大学 教授
成松 孝	NPO 法人 御堂筋・長堀 21 世紀の会 理事長
廣井 真由美	東横堀川水辺再生協議会（e-よこ会）事務局長
福西 博	大阪市建設局道路部長

9. 質問と回答

ウェブサイトにて質問を受け付けます（2020 年 7 月 20 日（月）まで）。回答は、2020 年 7 月 27 日（月）頃までにウェブサイトに掲示します。

10. 参加登録

応募される代表者の方は、必ず事前にウェブサイトの参加登録フォームより参加登録をしてください（2020 年 8 月 7 日（金）まで）。参加登録いただいた代表者の方には、整理番号および現地写真のオリジナルデータや図面等のダウンロード方法をお知らせします。なお、ダウンロードしたデータを本コンペ以外の目的には使用しないでください。

11. 提案資料の提出

参加登録いただいた代表者の方には、別途提案資料の提出先をお知らせします。その際、Google ドライブを用いるため、Google アカウントを作成いただく必要があります。参加登録フォームにも記載していますのでご確認ください。

12. 審査

【1次審査】

- ・ 審査は応募者を匿名にして行います。
- ・ 提出された資料（PDF ファイル等）にもとづき審査します。
- ・ 審査は、審査委員会を Zoom で開催（非公表）し、1次審査通過者を決定します。
- ・ 1次審査の結果は、事務局より応募代表者にメールで通知します。

【2次審査】

- ・ 審査は応募者を匿名にして行います。
- ・ プレゼンテーションと質疑応答を Zoom で行い、その内容にもとづき審査します。
- ・ プレゼンテーションは 12 分間（厳守）、質疑応答は 3 分間（厳守）とします。
- ・ プレゼンテーションは、応募作品（提出いただいたものと同じファイル）を Zoom で画面共有して実施いただきます（操作は発表者自身でお願いします）。それ以外の資料を用いることはできません。
- ・ 複数名で発表しても構いません。
- ・ 質疑応答は、発表資料を画面共有したままでも、画面共有を停止して発表者の顔等を写した状態に戻しても、どちらでも構いません。発表者自身で操作してください。
- ・ 審査会の開始前に Zoom の接続確認および発表資料の動作確認を行います。
- ・ 発表者の責による発表時のトラブル（操作ミス、埋め込みデータの動作トラブル、接続トラブル、通信障害、ハウリング、周囲の騒音、画面フリーズ等）は、発表者の自己責任とさせていただきます。
- ・ Zoom への接続方法（招待 URL 等）については、事前に応募代表者にメールで通知します。
- ・ 審査は、すべてのプレゼンテーションと質疑応答の終了後、審査委員会を Zoom で開催（非公表）し、授賞者を決定します。

【公開プレゼンテーション】

- ・ プレゼンテーションと質疑応答の様子は、YouTube Live で一般公開（同時中継）する予定です。詳細はウェブサイトにてお知らせします。

公開プレゼンテーション（予定）

日時：2020年9月19日(土)

9:50～ 9:55 開会の挨拶

10:00～12:00 2次審査

12:00～12:10 審査員講評

12:10 閉会

※時間等は変更になる可能性があります。予めご了承ください。

13. 結果発表

1次審査の結果は、各応募代表者にメールでお知らせします。

2次審査の結果は、審査員の講評とともに、ウェブサイトにて発表します。

(→公開プレゼンテーション後、同日中に、結果発表と表彰式を行うことになりました。ウェブサイトでの発表は、2020年9月30日(水)に行う予定です。)

14. 失格事項

応募者が次のいずれかに該当する場合は失格とします。賞を決定した後に、該当が判明した場合も同様に失格とし、表彰を取り消したうえで、賞金の返還を求める場合があります。

- ・提出方法、提出先、提出期限が守られていない場合
- ・応募作品中に、応募者が特定できる情報(氏名、所属、マーク・記号等)が含まれていた場合
- ・審査の公平性に影響のある行為(審査員への不正な働きかけ等)を行ったと認められる場合

15. 著作権および応募作品の取り扱い

- ・応募作品は未発表かつ自作のものに限ります。
- ・応募作品に対する著作権(著作権法(昭和45年5月6日法律第48号)第21条から第28条までに規定する権利)は、応募者に帰属するものとします。ただし、本コンペの主催者および後援者が、応募作品の結果通知や広報、作品集等の目的に使用することについて、応募者は許諾するものとします。その際、応募作品を部分的に使用したり、レイアウトを変更して使用することがありますので、予めご了承ください。
- ・表彰された作品が第三者の知的財産権を侵す場合、その他本要項の規定に違反していることが判明した場合は、表彰後であっても、決定を取り消したうえで、賞金の返還を求める場合があります。また、類似内容と認められる場合も同様に取り消す場合があります。なお、第三者の知的財産権を侵したことに伴い発生した紛争、損害等については、全て応募者が責任を負うものとし、主催者および後援者は一切の責任を負いません。

16. 土木学会継続教育(CPD)プログラム

本コンペは、土木学会継続教育(CPD)プログラムに認定されています。土木学会の規定に基づき、申請により、以下のCPD単位が付与されます。

- ・応募:「査読のない一般論文」と同等に扱い、1チームで合計10.0ポイント

- ・口頭発表：「論文等の口頭発表」と同等に扱い、発表者は $0.4 \times M$ (分) ポイント
- ・公開プレゼンテーション聴講※：「講習会」と同等に扱い、2.0 ポイント

※公開プレゼンテーションは、YouTube Live にて一般公開（中継）します。中継の途中にアンケート（記名式）の URL を表示しますので、中継終了後3日以内（2020年9月22日(火)まで）に URL にアクセスいただき、アンケートにご回答ください。回答者に受講証明書をお送りします。なお、CPD 単位の付与を希望される方は、公開プレゼンテーションの受講証明書が必要となり、土木学会のルールにより、公開プレゼンテーション視聴のための「事前申込」が必要となります。詳しくは、本コンペのウェブサイトを確認してください。

東横堀川デザインコンペ ～Zoom de コンペ!～
募集要項

- 発行：令和2（2020）年6月
- 主催：大阪「水の回廊」東横堀川デザインコンペ実行委員会
土木学会 建設マネジメント委員会 公共デザインコンペティション研究小委員会
- 協賛：（特別協賛）
株式会社エイト日本技術開発、株式会社オリエンタルコンサルタンツ
大日本コンサルタント株式会社、中央復建コンサルタンツ株式会社
- 後援：国土交通省近畿地方整備局、大阪府、大阪市
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会近畿支部
- 事務局：〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学都市デザイン学部 設計マネジメント研究室内

※本コンペの実行委員会は、土木学会関西支部 大阪「水の回廊」を活かした都市再生調査・研究委員会（活動期間：2018年4月～2020年3月）の活動をもとに組織されたものです。



JSCE COMPETITION

このロゴマークは、土木学会建設マネジメント委員会が発行する『土木設計競技ガイドライン・同解説+資料集』に本コンペが準拠していることを表すものです。